

JACET Kyushu-Okinawa Chapter  
The 23<sup>rd</sup> Annual Conference Program

June 20, 2009

University of the Ryukyus

**第 23 回**  
**大学英語教育学会 九州・沖縄支部**  
**支部研究大会プログラム**

World Englishes と大学英語教育  
—発信型コミュニケーション能力の育成—

World Englishes and College English Education:  
Cultivating Active Intercultural Communication

日時：2009年6月20日(土) 9:30~18:25

場所：琉球大学法文学部

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

Phone: (098) 895-8297 (小那覇研究室)

Fax: (098) 895-8297 (小那覇研究室)

主催：大学英語教育学会 九州・沖縄支部

後援：沖縄英語教育学会

沖縄外国文学会

沖縄県高等学校英語教育研究会

## 【プログラム】

- 受付 (Registration) 9:00—  
■ 開会式 (Opening) 9:30—9:45 法新 114  
総合司会 : 小那覇 洋子 (大会実行委員長 : 琉球大学)  
開会挨拶 : 山内 ひさ子 (支部長 : 長崎県立大学)  
会場校挨拶 : 岩政 輝男 (琉球大学大学長)

- 研究発表 I (Paper Presentations I) 9:55—11:35 (発表 20 分、質疑応答 10 分)  
(E) は英語、(J) は日本語による発表

- 第 1 室 (Room 1) 法新 111  
司会 : ペニンントン 和雅子 (西南学院大学)  
司会 : 森 礼子 (福岡県立大学)  
(9:55—10:25) 1. Cultivating Active Strategies for Collaborative Online Vocabulary Acquisition  
John Paul Loucky (E) (Seinan Jogakuin Junior University)  
(10:30—11:00) 2. Using newspaper cartoons to introduce humorous language to the EFL  
classroom  
Richard Hodson (E) (University of Nagasaki, Siebold)  
(11:05—11:35) 3. Constructing Meaning in Communicative Language Teaching –Theory into  
Practice—  
Kaoru Iseno (E) (University of Miyazaki)

- 第 2 室 (Room 2) 法新 112  
司会 : 中野 秀子 (九州女子大学)  
司会 : 川北 直子 (宮崎県立看護大学)  
(9:55—10:25) 1. 九州大学工学部・大学院工学府英語ニーズ分析—工学部 4 年生および修士 1, 2  
年生の聞き取り調査から  
橋本 裕美子 (J) (九州大学大学院生)  
(10:30—11:00) 2. 日本文化を英語で学ぶ: 大学・短期大学における授業実践報告と提言  
津田 晶子 (J) (中村学園大学短期大学部)  
(11:05—11:35) 3. 観光英語の CALL 教材開発  
山内 ひさ子 (J) (長崎県立大学シーボルト校)  
小田 まり子 (J) (久留米工業大学)  
河又 貴洋 (J) (長崎県立大学シーボルト校)

- 第 3 室 (Room 3) 法 101  
司会 : 富岡 龍明 (鹿児島大学)  
司会 : 川上 典子 (鹿児島純心女子大学)  
(9:55—10:25) 1. Cohesion and Coherence in Writing Samples of Japanese High School EFL  
Students – Implications for Developing Objective Criteria in Writing Assessment  
Nakao Teruyo (E) (Sakuragaoka High School)  
(10:30—11:00) 2. Do L2 Learners Close Conversations in English Adequately?  
Woo-hyun Jung (E) (Yeungnam University)  
(11:05—11:35) 3. Teaching English through English: Is it beneficial for the content based  
classroom?  
Chongwon Park (E) (Pukyong National University)

- 第 4 室 (Room 4) 法 102  
司会 : 上村 俊彦 (長崎県立大学シーボルト校)  
司会 : 伊藤 健一 (北九州市立大学)  
(9:55—10:25) 1. 日本人英語学習者は英語の “r” 音をどのように知覚・生成しているか?  
平井 さよ子 (J) (東京大学大学院研究生)  
(10:30—11:00) 2. 語彙サイズテストの測定精度を高める試み  
神本 忠光 (J) (熊本学園大学)

- (11:05-11:35) 3. コミュニカティブなリスニング活動の TOEIC 指導への応用と可能性—ドラマテ  
ィズムの観点から—  
松本 知子 (J) (熊本大学非常勤)  
平野 順也 (J) (大牟田高等学校)

第 5 室 (Room 5)

法 103

- 司会 : 石井 和仁 (福岡大学)  
(9:55-10:25) 1. 「理想の英語教師像」の個人別態度構造分析  
伊藤 彰浩 (J) (西南学院大学)  
(10:30-11:00) 2. 日本における言語教育政策の実態とその展望—日本語を母語としない子どもたち  
の観点から  
時原 千恵子 (J) (琉球大学大学院生)

■ 基調講演 (Plenary Speech)

11:40-12:30

法新 114

- 司会 : 小那覇 洋子 (琉球大学)  
「国際英語」論は日本の英語教育に有効か?  
吉川 寛 (J) (中京大学)

■ 昼食 (Lunch)

12:30-13:20

(12:30 より 受付 にて弁当受け取り)

\*湯茶サービスは11:00 以降、第 5 室 (法 103) にてご提供いたしますので、ご利用ください。

■ 展示見学 (Display)

法文学部新棟 1 F (吹抜) ロビー

\*展示は 9:30 より 16:45 まで行っています。ご自由にご見学ください。

■ 支部総会 (General Meeting)

13:20-14:00

法新 114

- 議長選出
- 本部報告 山内 ひさ子 (支部長:長崎県立大学シーボルト校)
- 紀要第 14 号出版について 林 日出男 (紀要編集委員長:熊本学園大学)
- 活動報告、予算、決算、その他 荒木 瑞夫 (事務局:宮崎県立看護大学)
- 支部役員選出

■ 研究発表 II (Paper Presentations II) 14:05-15:45 (発表 20 分、質疑応答 10 分)

((E) は英語、(J) は日本語による発表)

第 1 室 (Room 1)

法新 111

- 司会 : 染矢 正一 (大分県立芸術文化短期大学)  
司会 : 師子鹿 元美 (別府大学短期大学部)
- (14:05-14:35) 1. Using Learner Journals to Investigate Communication Strategies Usage in L2  
Environment  
Darcy De Lint (E) (Kyushu Sangyo University)  
Miki Diem (E) (Kyushu Sangyo University)
- (14:40-15:10) 2. 音楽を使った英語教育及び異文化コミュニケーション教育  
宮下 和子 (J) (鹿屋体育大学)
- (15:15-15:45) 3. リーディング・クラスにおけるライティング指導の実践報告  
米田 みたか (J) (お茶の水女子大学)

第 2 室 (Room 2)

法新 112

- 司会 : 村田 典枝 (沖縄キリスト教学院大学)  
司会 : 鈴木 千鶴子 (長崎純心大学)

- (14:05-14:35) 1. 「英語が嫌い！」学生の興味を生かした授業づくりーグループでのプレゼンテーションを中心にー  
矢野 英子 (J) (久留米大学)
- (14:40-15:10) 2. 複視眼的視野を持つ国際的医療人の育成ー宮崎大学医学部の取組み  
南部 みゆき (J) (宮崎大学)  
横山 彰三 (J) (宮崎大学)
- (15:15-15:45) 3. Language Study and Professional Use: the changing role of the ESP teacher  
John Skelton (E) (University of Birmingham)

第3室 (Room 3)

法 101

- 司会：光永 武志 (熊本電波工業高等専門学校)  
司会：山城 綾子 (沖縄県立看護大学)
- (14:05-14:35) 1. ICT を活用した読書コミュニティづくりー大学を越え、都道府県を跨ぎ、海を渡る Reviewsー  
水野 邦太郎 (J) (福岡県立大学)
- (14:40-15:10) 2. 個別指導を取り入れた英語リメディアル教育  
吉重 美紀 (J) (鹿屋体育大学)
- (15:15-15:45) 3. リメディアル教育としての英語多読指導：中間報告ー多読導入1年目ー  
木原 直美 (J) (長崎外国語短期大学)

第4室 (Room 4)

法 102

- 司会：樋口 晶彦 (鹿児島大学)  
司会：田口 純 (筑紫女学園大学)
- (14:05-14:35) 1. 異文化の人々との人間関係を妨げる原因は何か？：コミュニケーションスキルを身につけることを目標として  
古村 由美子 (J) (九州大学)
- (14:40-15:10) 2. Comparative analysis of English textbooks-South Korean elementary school textbooks & Japanese junior high school textbook A-  
Keiko Yonaha (E) (Meio University)
- (15:15-15:45) 3. 日本人英語とアジア英語に対する態度と容認度の調査  
徳元 美菜 (J) (琉球大学大学院生)

■ 特別講演 (Special Lecture)

15:50-16:40

法新 114

- 司会：山内 ひさ子 (長崎県立大学シーボルト校)  
Modeling Intercultural Communication Competence  
Brian Spitzberg (E) (San Diego State University)

■ シンポジウム (Symposium)

16:45-18:15

法新 114

- World Englishes と大学英語教育ー発信型コミュニケーション能力の育成ー  
World Englishes and College English Education: Cultivating Active Intercultural Communication

- コーディネーター・司会： 東矢 光代 (J) (琉球大学)  
シンポジスト： 米岡 ジュリ (J) (熊本学園大学)  
志水 俊広 (J) (九州大学)  
柴田 美紀 (J) (琉球大学)

■ 閉会式 (Closing)

18:15-18:25

法新 114

- 閉会挨拶： 伊藤 彰浩 (西南学院大学)

■ 懇親会 (Party)

19:00-21:00

会場：カフェレストランロアジス

- 宜野湾市志真志4丁目24の7 TEL: 098-898-4361(代)  
司会：与那覇 恵子 (名桜大学)

## お知らせ・お願い (Notice to Participants)

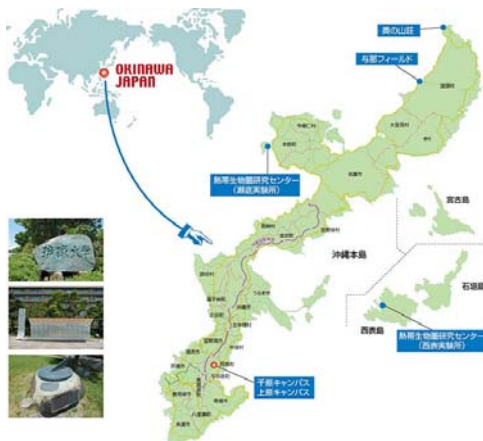
1. 受付は、法文学部新棟 1 F 入口付近で行います。
2. JACET 会員の方は支部を問わず**参加無料**です。JACET 会員でない学生の方、および後援団体（沖縄英語教育学会・沖縄外国文学会・沖縄県高等学校英語教育研究会）の関係者の方は資料代として**500 円**を当日受付にて申し受けます。一般参加の方は、資料代として**1000 円**を当日受付にて申し受けます。
3. 展示会場は法文学部新棟 1 F（吹抜）ロビーになります。
4. 湯茶サービスは午前 11 時より**法 103 教室**にて開始いたします。休憩室としてご利用ください。なお、弁当は受付にて 12 時 30 分よりで配布します。
5. 宿泊は各自お申し込みください。参加申込書にホテルの案内があります。
6. 周辺には食堂があまりございませんので、弁当の予約をお勧めいたします。大学から徒歩 5 分程度のところにコンビニエンスストアがあります。また、徒歩 15 分程度のところにモス・バーガーがあります。
7. 懇親会は同封の申込書でお申し込みください。
8. 当日何かお困りの際、またはお問い合わせ等の際は受付までお越し下さい。
9. 車を利用される方は南口（西原口）を入れて最初の信号を右に曲がり、法文学部棟付近の駐車場をご利用ください（駐車料金はかかりません）。駐車場は「放送大学」のサインが目印です。

## 発表される方へお願い (Notice to Presenters)

パソコンを使った発表を予定されている方は当日早めに受付を済ませた後すぐに、機器の接続確認・ソフトの動作確認などを各自の部屋で行ってください。発表直前の確認は予想以上に時間がかかり、他の発表者の迷惑になる場合がありますのでご注意ください。また発表時間は質疑応答含めて 30 分です。延長や順番の入れ替えはいかなる理由でも認められませんのでご注意ください。

## 交通案内および宿泊 (Access & Accommodations)

会場（琉球大学）へのアクセスは、大学のホームページ (<http://www.u-ryukyu.ac.jp/>) の「本学へのアクセス」(左端)から「千原キャンパス(琉大北口付近)」をご参照ください。なお、国際通り付近からお越しの場合、モノレール首里駅(終点)で下車、タクシーで来ることもできます(所要時間：約 15 分、料金：約 1,000 円)。宿泊の手配は各自でお願いいたします。



琉球大学法文学部 (Faculty of Law and Letters, University of the Ryukyus)  
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地  
TEL : 098-895-8297 (小那覇研究室) FAX: 098-895-8297

JACET 九州沖縄支部研究大会へのご協賛感謝申し上げます (アルファベット順)

株式会社 アルク教育社    株式会社 ベネッセコーポレーション  
カシオ計算機株式会社    チェル株式会社    開隆堂出版株式会社  
株式会社 金星堂    株式会社 南雲堂    株式会社 成美堂  
正興 IT ソリューション株式会社